

日本出版クラブ「洋書の森」主催

翻訳者のためのウィークエンド スキルアップ講座 第36回

美しい本を訳す

—— 児童書、YA翻訳の多様性

翻訳家 原田 勝

翻訳の仕事をしていていちばん楽しい瞬間は、できあがった本が送られてきた時かもしれません。その本が、美しいフォントやレイアウト、迫力のある写真や楽しい絵で飾られ、意外な、しかし、なるほど、という装幀をまとってあれば、喜びは倍増します。児童書やYA（ヤングアダルト）作品は、絵本はもちろん、読み物でも、挿絵が重要な役割を果たし、また、表紙の絵や装幀がバリエーション豊かなジャンルです。

今回は、わたしの最近の訳書三冊を題材に、原書探しから翻訳の過程や工夫を紹介し、「美しい本」を訳す喜びや本作りの楽しさをみなさんと共有できればと思います。また、各作品の原文と訳文を対比し、この児童書・YAというジャンルで扱う文章の多様性も実感していただければ幸いです。

扱う本は以下の三冊。

- 『夢見る人』（パム・ムニョス・ライアン作、ピーター・シス絵、原田勝訳、岩波書店、2019）
- 『ブライアーヒルの秘密の馬』（メガン・シェパード作、リーヴァイ・ピンフォールド絵、原田勝・澤田亜沙美訳、小峰書店、2019）
- 『キャパとゲルダ——ふたりの戦場カメラマン』（マーク・アロンソン&マリナ・ブドーズ作、原田勝訳、あすなる書房、2019）

原作は、いずれも複数のクリエイターが協働して、文と絵、あるいは写真を組み合わせて作ったものですが、日本ではそれを、訳者、編集者、装幀家が、やはり力を合わせて原作の再現、あるいは生まれ変わりを目指しました。また、『ブライアーヒル……』については、澤田さんとの共訳で気づいた点についてもお話したいと思います。

原田 勝

日 時

2019年12月7日（土）15：00～17：00（受付開始14：30）

講 師

原田 勝 氏（翻訳家）

会 場

出版クラブホール（出版クラブビル3F）
（千代田区神田神保町1-32 神保町駅A5出口より徒歩2分）
<https://shuppan-club.jp>

参加費

3,000円（税込み）

定 員

80名（会費振込み確認順、定員になり次第締切）

★講座終了後、17時30分より同フロアにて講師を囲んでの交流会を行います。
参加ご希望の方は併せてお申込み下さい。（会費別途／3,800円・税込み、定員40名）

お申込み・お問合せ

下記「洋書の森」宛に ①参加される方のお名前 ②連絡先電話番号 ③メールアドレス ④12/7（講座のみ or 講座・交流会とも or 交流会のみ）参加希望、とメールして下さい。お申込みいただいた方には折り返し、会費振込み先のご案内をいたします。

会費振込み確認を以て正式に申込み受付となり、こちらから詳細をお送りいたします。会費振込み後、数日経っても返信のない場合はお手数ですが、お電話等でお問合せ下さい。（金曜夕方～日曜・祝日にお申込みの方には返信が休日明けとなりますのでご了承ください。）

なお、会費お振込み後、キャンセルされた場合でも返金はできかねますので、何卒ご注意・ご了承の上、お手続き下さい。

また、当日の飛び入り参加はできません。必ず事前にお申込み・お振込み下さい。

一般財団法人 日本出版クラブ内 「洋書の森」事務局
E-Mail : yousho@shuppan-club.jp TEL 03(5577)1771

◆講師略歴◆

■原田 勝（はらだ・まさる）

1957年神奈川県生まれ、東京外国語大学卒。機械メーカーに9年間勤務し、その後、学習塾講師をしながら翻訳活動に携わる。主に児童書、特に英語圏のヤングアダルト向け作品の翻訳に取り組む。『ペーパーボーイ』（ヴィンス・ヴォーター作、岩波書店）は、第3回翻訳大賞最終候補。現在、川越、池袋で翻訳勉強会を主宰。

ブログ 「翻訳者の部屋から」 （ haradamasaru.hatenablog.com ）

◆翻訳作品リスト◆

- 1993年 1 『ミッドナイトブルー』 ポーリン・フィスク作（ほるぷ出版）
- 1995年 2 『弟の戦争』 ロバート・ウェストール作（徳間書店）
- 1997年 3 『ぼくの心の闇の声』 ロバート・コーミア作（徳間書店）
- 4 『星の使者』 ピーター・シス作・絵（徳間書店）
- 1998年 5 『〈ナイト・シー〉の壁をぬけて』 オットー・クーンツ作（徳間書店）
- 2002年 6 『ブック・オブ・ザ・ダンカウ』 ウォルター・ワンゲリン作（いのちのことば社）
- 7 『サブリエル―冥界の扉』（古王国記1） ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 2003年 8 『二つの旅の終わりに』 エイダン・チェンバーズ作（徳間書店）
- 9 『ライラエル―氷の迷宮』（古王国記2） ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 2004年 10 『雲母の光る道』 エリオット・ハイゼルグローブ作（東京創元社）
- 11 『アブホーセン―聖賢の絆』（古王国記3） ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 2005年 12 『生命の樹―チャールズ・ダーウィンの生涯』 ピーター・シス作・絵、大川修・手書き字（徳間書店）
- 2006年 13 『エアボーン』 ケネス・オッペル作（小学館）
- 14 『わたしの知らない母』 ハリエット・スコット・チェスマン作（白水社）
- 15 『月曜日は赤』 ニコラ・モーガン作（東京創元社）
- 16 『銃声のやんだ朝に』 ジェイムズ・リオードン作（徳間書店）
- 2007年 17 『スカイブレイカー』 ケネス・オッペル作（小学館）
- 2008年 18 『ガンジス・レッド、悪魔の手と呼ばれしもの』 ディーン・ヴィンセント・カーター作（あすなろ書房）
- 19 『海賊黒パンと、プリンセスと魔女トロール、2ひきのエイリアンをめぐるぼうけん』 ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 2009年 20 『王国の鍵1、アーサーの月曜日』 ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 21 『王国の鍵2、地の底の火曜日』 ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 22 『秘密のマシン、アクイラ』 アンドリュー・ノリス作（あすなろ書房）
第22回読書感想画指定図書（小学校高学年の部）

- 23 『王国の鍵3、海に沈んだ水曜日』 ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 2010年 24 『王国の鍵4、戦場の木曜日』 ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 25 『スピリットベアにふれた島』 ベン・マイケルセン作（鈴木出版）
第57回読書感想文課題図書（中学校の部）
- 26 『王国の鍵5、記憶を盗む金曜日』 ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 2011年 27 『王国の鍵6、雨やまぬ土曜日』 ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 28 『王国の鍵7、復活の日曜日』 ガース・ニクス作（主婦の友社）
- 2012年 29 『フェリックスとゼルダ』 モーリス・グライツマン作（あすなろ書房）
第59回読書感想文課題図書（中学校の部）
- 30 『大地のランナー——自由へのマラソン』 ジェイムズ・リオードン作（鈴木出版）
第25回読書感想画指定図書（中学校・高等学校の部）
- 2013年 31 『フランケンシュタイン家の双子』 ケネス・オッペル作（東京創元社）
- 32 『フェリックスとゼルダ その後』 モーリス・グライツマン作（あすなろ書房）
- 33 『フランケンシュタイン家の亡霊』 ケネス・オッペル作（東京創元社）
- 2014年 34 『ロバート・ウェストール短編集——真夜中の電話』 ロバート・ウェストール作（徳間書店）
- 2015年 35 『ハーレムの闘う本屋——ルイス・ミシヨールの生涯』 ヴォーンダ・ミシヨール・ネルソン作（あすなろ書房）
2016年度IBBYオナー（翻訳部門）、第62回読書感想文課題図書（高校の部）
- 36 『飛行士と星の王子さま——サン＝テグジュペリの生涯』 ピーター・シス作（徳間書店）
- 2016年 37 『エベレスト・ファイル シェルパたちの山』 マット・ディキンソン作（小学館）
- 38 『ペーパーボーイ』 ヴィンス・ヴォーター作（岩波書店 STAMP BOOKS）
第3回日本翻訳大賞最終候補
- 39 『30秒でわかる 地球』 アニータ・ガネリ作（三省堂）
- 40 『30秒でわかる 宇宙』 クライヴ・ギフォード作（三省堂）
- 2017年 41 『オオカミを森へ』 キャサリン・ランデル作、ジェルレヴ・オンビーコ絵（小峰書店）
- 2018年 42 『ヒトラーと暮らした少年』 ジョン・ボイン作（あすなろ書房）
第30回読書感想画中央コンクール指定図書（中学高校の部）
- 2019年 43 『夢見る人』 パム・ムニョス・ライアン作、ピーター・シス絵（岩波書店）
- 44 『ブライアーヒルの秘密の馬』 メガン・シェパード作、リーヴァイ・ピンフォールド絵（小峰書店）
- 45 『夜のあいだに』 テリー・ファン&エリック・ファン文・絵（ゴブリン書房）
- 46 『キャパとゲルダ——ふたりの戦場カメラマン』 マーク・アロンソン&マリナ・ブドーズ作（あすなろ書房）
- 47 『月でたんじょうパーティーをひらいたら』 ジョイス・ラパン作、シモーナ・チェッカレッチ絵、縣秀彦監修（廣済堂あかつき）